

# 新年に目標を伝えよう！

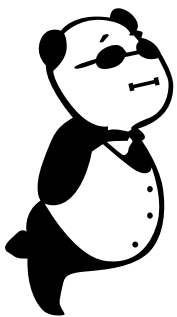
校長 田邊 泰

「言霊」(ことだま)という語があります。「古代日本で、言葉に宿っていると信じられていた不思議な力。発した言葉どおりの結果を現す力があるとされた。」(大辞泉より)とあるように、言葉の持つ力を私たちの祖先は信じていました。言霊信仰とも言われます。

この言霊信仰は、現在でも残っています。例えば、結婚式などのお祝いの席では、縁起の悪い言葉(例えば「終わる」とか「切れる」とか)を使わないようにするなどは、今でもマナーとして留意する人が多くいます。また、都市伝説では、育てているサボテンに「有難う」と声をかけ続けたら素敵な花が咲いた、何ていう話もあります。言葉には現実世界を変えるくらいの力があると、私たちは心のどこかで思っているようです。

ところが最近では、「言霊信仰」自体がなくなりつつあるのかもしれませんが。平気で約束を破る人、振り込め詐欺に代表されるように人を欺く言葉を平気で話す人など、発せられた言葉の重みを全く考えない人たちが、散見されるようになってきました。

さて、冬休みの課題に書き初めがありました。年の初めに書き初めを行うのは、書を通して気持ちを新たに整える意味があります。大きな節目だからこそ、言葉に表すことに力が宿るような気がします。まさに「言霊」です。



**岸中の皆さん、新年だからこそ、今年の決意や抱負を言葉にしてみましよう。そして、身近な人に伝えるのです。伝えることで、言葉に責任がついてきます。それが自分を動かす原動力となるのです。**

**昔、ある生徒がこう宣言しました。「弱い立場の人を助けたい。」彼は現在、弁護士です。**

**岸中の皆さん、言葉の力を信じてみませんか？**